

議会だより

第140号

令和6年10月22日
(2024)

発行 山ノ内町議会
責任者 議長 湯本 晴彦
編集 広報常任委員会

〒381-0498 長野県下高井郡
山ノ内町大字平穏3352-1
☎0269-33-1101
E-mail
gikai@town.yamanouchi.lg.jp

議会ホーム
ページは
こちらから



フェイス
ブックは
こちらから

もくじ

| | |
|-----------------|----|
| 令和6年第4回定例会関連記事 | 18 |
| 一般質問 | 20 |
| 決算審査 | 30 |
| ここが疑問・全国広報研修会 | 32 |
| 監査委員審査意見 | 33 |
| 追跡！審査意見その後 | 34 |
| みんなのひろば | 35 |
| 陳情・議会全員協議会・編集後記 | 36 |

一般会計補正予算(第4号)の修正案を可決 米国プロモーションに待った



太陽光パネル・充電施設設置予定の文化センター

令和6年第4回議会定例会は、8月29日から9月19日までの22日間にわたって開催されました。町側からは、5年度まちづくり観光局決算などの報告4件、契約締結1件、県後期高齢者医療広域連合規約の変更、6年度一般会計ほか2会計の補正予算案、条例の一部改正2件、5年度各会計の決算7件、人事案4件が提案されました。

6年度一般会計補正予算については、予算決算審査委員会委員長の減額修正報告を全会一致で可決しました。そのほかの案件については、原案どおり受理・可決・認定・同意しました。

6年度一般会計補正予算(第4号) 2800万円を減額修正

6年度一般会計補正予算案(第4号)は、予算決算審査委員会に付託され、8月30日、9月2日の2日間審査しました。この中で、海外プロモーションに係る費用が議論になりました。町長の旅費として220万円(バンコク50万円・ロサンゼルス170万円)がインバウンド推進費に、同行の観光局職員の旅費110万円が観光局事業負担金として計上されていました。委員会では、ロサンゼ

ルプロモーションが県知事のトップセールスであり、参加予定は県下首長で平澤町長だけであること、町長の航空運賃がビジネスクラスになっていること、観

2件の減額修正案

委員会としては、ロサンゼルス関係の費用280万円減額の修正案、山本光俊議員からは、バンコク、ロサンゼルス両方の費用計330万円を減額する修正案の提出があり、採決の結果、山本議員の修正案は賛成3の少数で否決、委員長の修正案を可決すべきものとなりました。

9月5日の本会議では、山本議員提出の修正案を賛成3、反対9で否決したのち、委員長の修正案を全会一致で、修正部分を除く原案についても全会一致で可決しました。

《歳入の主なもの》

- 地方特例交付金 4609万円
- 地方交付税 2億7509万円
- 国庫補助金 5036万円
- 減債基金繰入金 △1億円
- 財政調整基金繰入金 △1億8381万円

《歳出の主なもの》

- シティプロモーション 514万円
- 定額減税補足給付金 1500万円
- 新型「コロナワクチン接種」 3059万円

教育委員会 委員の任命

氏名：舩橋紀子(笹湯)
任期：令和6年10月21日から令和10年10月20日まで
理由：任期満了による

人権擁護委員 の推薦

氏名：湯本 弥助(沢)
氏名：山本さゆり(佐野上)
氏名：吉池富美子(中須賀川)
任期：法務大臣の委嘱の日から3年
理由：任期満了による

公開します 審議議案と議員の賛否 令和6年第4回定例会

| 上程議案 賛成：○ 反対：● 欠席：欠 全賛…全員賛成で可決・承認・認定・採択・同意 賛多…賛成多数で可決・承認・認定・採択・同意 賛少…賛成少数で否決・不承認・不認定・不採択・不同意 | 結果 | 小田孝志 | 畔上恵子 | 小林仁 | 志鷹慎吾 | 塚田一男 | 湯本るり子 | 徳竹栄子 | 高田佳久 | 渡辺正男 | 山本光俊 | 小林克彦 | 白鳥金次 | 湯本晴彦 |
|--|----|------|------|-----|------|------|-------|------|------|------|------|------|------|------|
| 令和6年度塵芥車購入事業（線越）の売買契約の締結について | 全賛 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 長野県後期高齢者医療広域連合規約の変更について | 全賛 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 令和6年度一般会計補正予算（第4号）議員動議の修正案 | 賛少 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 令和6年度一般会計補正予算（第4号）委員長の修正案 | 全賛 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 令和6年度一般会計補正予算（第4号）修正案を除く原案 | 全賛 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 令和6年度介護保険特別会計補正予算（第1号） | 全賛 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 令和6年度水道事業会計補正予算（第1号） | 全賛 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 資金積立基金設置条例の一部を改正する条例の制定について | 全賛 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について | 賛多 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 人権擁護委員の候補者の推薦について | 全賛 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 令和5年度一般会計歳入歳出決算の認定について | 賛多 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 令和5年度国民健康保険特別会計（事業勘定・直営診療施設勘定）歳入歳出決算の認定について | 賛多 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 令和5年度後期高齢者医療保険特別会計歳入歳出決算の認定について | 全賛 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 令和5年度介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について | 賛多 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 令和5年度公共下水道事業会計決算の認定について | 全賛 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 令和5年度農業集落排水事業会計決算の認定について | 全賛 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 令和5年度水道事業会計決算の認定について | 全賛 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 教育委員会委員の任命について | 全賛 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 「女性差別撤廃条約選択議定書」の速やかな批准を求める意見書の提出を求める請願書 | 全賛 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書 | 全賛 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充し、すべてのケア労働者の賃上げや人員増を求める陳情書 | 全賛 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 国民健康保険財政への国庫負担の増額を求める陳情 | 全賛 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 「現行の健康保険証の存続を求める意見書」の提出を求める陳情書 | 賛少 | ● | ● | ● | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 「女性差別撤廃条約選択議定書」の速やかな批准を求める意見書の提出について | 全賛 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 最低賃金の改善と中小零細企業支援の拡充を求める意見書の提出について | 全賛 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充し、すべてのケア労働者の賃上げや人員増を求める意見書の提出について | 全賛 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 国民健康保険財政への国庫負担の増額を求める意見書の提出について | 全賛 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

令和6年度一般会計補正予算（第4号）

修正動議提案説明

山本 光俊

町長の海外トップセールス2事業が補正予算に計上されたが、これは民間の観光団体等が行う事で十分成果が得られる。しかも渡航はビジネスクラスで、町を約10日空けてまで必要な事業と思えない。観光局設立に伴う説明会の未実施や土木懇談会等、本来町長が出席する事業の多くを代理出席として出張ばかりで内政を軽視しているとの指摘もある。この状況で当該事業を実施することは極めて不適切であり修正動議を提出する。

減額修正すべきものとした予算決算審査委員長の報告

賛成討論

渡辺 正男

○サンゼルスプロモーション参加は、行政のトップとしてなのか、町観光局のトップとしてなのか、非常にあいまい。町観光局はスタートしたばかりだが、産業振興課との業務の線引きの明確化が必要と感じる。また「特別職の職員の旅費又は費用弁償に関する条例」8条（外国旅行）の「外国旅行については、この条例の規定にかかわらず、その都度別に定める」との規定は見直しが必要と考える。

ズバリ ここが知りたい

論戦

平澤町政の1年半を振り返って、小学校1校統合、文化センター改修工事、通学路の交通安全対策は、町制施行70周年に向けて、エネルギーと環境関連、町民の健康診断、緊急時のAED使用、マイナ保険証実質義務化、学校部活動の地域移行、野生鳥獣被害防止対策、教育ビジョンの方向性、学校のエアコン設置、町長と語る会、など

9月3日、4日、5日の3日間にわたり行われ、登壇議員は9人、傍聴者は延べ26人でした。

一般質問とは、住民から重大な期待と関心を持たれる大事な議員活動です。議員がその市町村の行政全般にわたって、執行機関の疑問点をただし、所信の表明を求めるものです。議員主導による政策議論であることから、執行機関も十分な準備が必要となるため事前通告を行います。

質問者1人の質問時間は25分です（答弁を含めて概ね1時間）。

| | | |
|---|---|--|
| ① |  湯本 晴彦 | <ul style="list-style-type: none"> ・平澤町政の1年半を振り返って ・観光政策について ・小学校1校統合について |
| ② |  志鷹 慎吾 | <ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化対策実行計画（事務事業編）について ・文化センター改修工事について ・再エネ・省エネをどのように考えているか |
| ③ |  小田 孝志 | <ul style="list-style-type: none"> ・通学路の交通安全対策は ・町制施行70周年に向けて ・夏まつり山ノ内どんどんについて |
| ④ |  塚田 一男 | <ul style="list-style-type: none"> ・災害対応と危機管理について ・エネルギーと環境関連について ・町民の健康診断について ・町職員の健康管理について |
| ⑤ |  畔上 恵子 | <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者等の健康維持対策について ・役場窓口での軟骨伝導イヤホン設置について ・緊急時におけるAED使用について |
| ⑥ |  渡辺 正男 | <ul style="list-style-type: none"> ・町民まつりのあり方をどう考えるか ・マイナ保険証実質義務化にどう対応するか ・学校部活動の地域移行にどう取り組むか |
| ⑦ |  白鳥 金次 | <ul style="list-style-type: none"> ・町長の政治姿勢について ・野生鳥獣被害防止対策について ・職員の働き方改革について |
| ⑧ |  小林 仁 | <ul style="list-style-type: none"> ・部活動地域移行の進捗は ・教育ビジョンの今後の方向性は |
| ⑨ |  湯本るり子 | <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通について ・学校のエアコン設置について ・町長と語る会について |

方向修正すべきところはして 成果につなげてほしい

町長 議長自ら一般質問に立つ重みを受けとめたい

平澤町政1年半を振り返って

質問 町を今後どうしていきたいか。

町長 経済的に活気のある町にしていきたい。

質問 混乱を与えている部分はないか。

町長 改革をすすめているところ。混乱を与えているわけではない。

質問 地元の会合への出席が少ないが、町民の声を聞くチャンスでは。

町長 地元の声を聞くためにも、町長と未来を語る会を開催した。区長とは町長室でもしっかりと腰据えて話をしている。

質問 地元の会合は「コミュニケーション」の場であり、関係をつくるという意味で非常に有効では。

町長 すべてに出られるわけではない。スケジュール的に可能なものは出ている。

質問 海外出張は費用だけでなく、時間も投資されている。その効果は。インバウンドに関する。町は大きな後れを取っている。インバウンドの観光客が増えていて、非常にチャンス。今まで町をPRしこれていなかった分、海外に対して攻勢をかけるべき。



町長独自の基本構想を策定してはどうか

き。

質問 営業に行っても、中から崩れることもある。若くエネルギーシフトな町長でグローバルな新しい視点を

持っているという強みを台無しにしてしまわないよう、中をしっかりと固めてほしい。

町長 町をひとつにするというところは、今までなかなか難しかった部分。どういう形でのリーダーシップが適切なのか勘案しながら、町をひとつにできるような方向性で考えて動いていく。

観光局の役割

質問 やることが増えているか。

町長 ひとつに絞れるほどシンプルな仕事ではない。工夫してやっていくしかない。

質問 戦略とは選択と集中。

また、具体的な指示を出すことが重要。丸投げしているように見えるが。

町長 職員も頑張っている。効率化と適切な運営体制にするため、一緒に取り組んでいる。

小学校1校統合

質問 どういう子どもを育てていきたいか明確になっていないのでは。

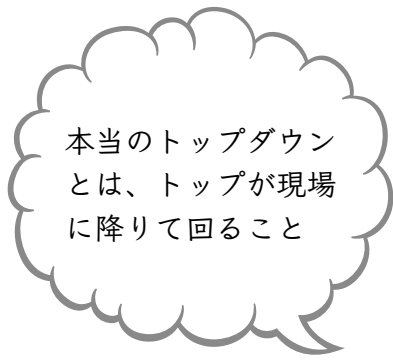
町長 10人子どもがいたら10人おりのライフスタイルがあり、多様性や個性を伸ばすことが重要。

質問 小学校を統合する目的は。

町長 よりよい教育環境を子どもたちに提供すること。
教員長 ひとつの町として一体感を伴いながら、全体として質を上げていくこと。



ゆもとはるひこ
湯本 晴彦



本当のトップダウンとは、トップが現場に降りて回ること

湯本晴彦のつぶやき

町のエネルギー政策の考えは

町長 地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を策定中

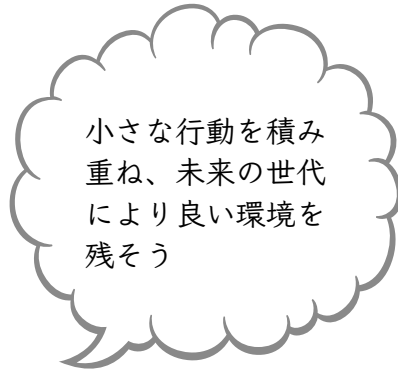


したか しんご
志鷹 慎吾

※1 ZEH（ゼッチ）：Net Zero Energy House（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）の略語。ZEH住宅は、太陽光発電による電力創出・省エネルギー設備の導入・外壁の高断熱利用などにより、生活で消費するエネルギーよりも生み出すエネルギーが上回る住宅。

※2 ZEB（ゼブ）：Net Zero Energy Building（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）の略称。快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建築物。

※3 ZEBオリエンテッド：一次エネルギー消費量に応じて、ZEB基準を4つの種類に分類し、30%～40%以上の一次エネルギー消費量削減した建築物。



志鷹慎吾のつぶやき

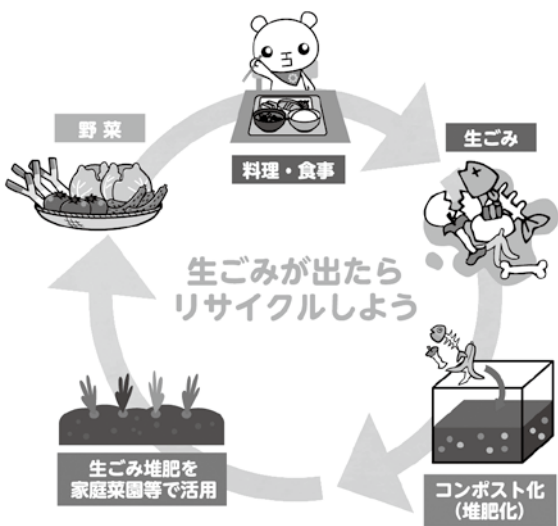
地球温暖化対策実行計画は

【質問】 エアコン設置の現状と今後の予定は。

【町長】 役場庁舎や学校のように経常的に人が出入りするため空調設備を優先的に順次導入をすすめる。来年度以降、小・中学校の特別教室への設置を予定。

【質問】 国および県のZEH義務化への動向やZEBの推進は。

【町長】 山ノ内町再生可能エネルギー利用設備設置費補助金交付要綱を県の制度とリンクさせながら、町民の意識高揚も併せてすすめて



いきたい。

【質問】 ゼロカーボン達成に向けて、具体的にどう推進。

【町長】 森林整備によるCO₂吸収源の強化やごみの削減

など、様々な企業や団体の協力を得ながら、町民の皆様が分かりやすい形をつくることを目的とし、今年度から事務手続きをすすめて

いる地球温暖化対策実行計画の策定において検討する。

【質問】 再生可能エネルギーの生産をどう考える。

【町長】 発電事業者の役割と自治体の役割を明確にしながら、町としては再生可能エネルギー利用設備設置費補助金交付要綱による町民が行う再生可能エネルギーの活用を優先的にすすめていく。

文化センター 改修工事の目的と 主な内容は

【教育長】 令和7・8年度予定の長寿命化工事に合わせ、国の政府実行計画であ

る2030年までに50%以

上の設置可能な建築物に太陽光発電設備を設置する目標を受け、建物のカーボン

ニュートラルを目的とする。太陽光発電、屋根および外壁を断熱改修、ガラスの断熱、LED化など。

【質問】 ZEB基準ではどのくらいか。

【教育長】 現時点ではZEBオリエンテッド相当を想定。改修事後は電気代の約30%で年間約35万円の削減と予測。現行施設の維持管理経費は変わらないが、10年スパンで太陽光発電設備のメンテナンス費用やパネル更新費用が発生する。

再エネ・省エネ の考えは

【質問】 再生可能エネルギー

は。

【町長】 ゆくゆくは視野に入れいく。水利権などの問題もあるので、一つずつ課題をクリアしながら、町でどのような自然エネルギー開発ができるか、しっかりと議論しながらすすめたい。

【質問】 コンポストの推進に

【町長】 ごみの焼却に係るエネルギー量はそれなりにある。エネルギー消費を削減するためにもコンポストを家庭、事業者、ホテル、学校などでも普及させたい。環境に優しいユネスコエコパークと胸を張って言えるまちづくりをしたい。

通学路の交通安全対策は

町長 合同点検を毎年1回 計画的・継続的に実施している

歩道未整備部分の安全確保対策は

教育長 通学路の安全対策は非常に重要な事項として認識している。学校、地域PTA、町関係課など、関係者とともに危険箇所を把握し、建設事務所、警察署との連携をはかりながら対策を検討し、できることから安全対策を行っている。

児童・生徒には交通安全教育として、交通ルールや危険箇所を認識してもらうとともに、通学路の見守りについては、保護者の協力も要請している。

歩道の整備に関しては、地元の協力のもと、建設事務所、町関係課と連携をはかりながら必要箇所の整備をすすめていただけるよう要請をしていく。

質問 小学校が統合された



おだ たかし
小田 孝志

※1 グリーンベルト：歩道が整備されていない道路の路側帯を緑色にすることで、ドライバーに通学路であることを視覚的に認識させ、車両の速度を抑制させるためのもの。各自自治体における取り扱いとして設置されている。

※2 ハンプ：道路の上に物理的な「こぶ」を作ることで車の速度を抑制するもの。



(写真提供) 秋田県庁ホームページより

場合、徒歩通学が広範囲となってくると思うが。

町長 統合場所が決まり、新しい通学路の設定の際にはしっかりと安全に配慮した通学路が確保できるように対応していきたい。

質問 安全策対として、グリーンベルト設置の考えは、

町長 グリーンベルト設置

を含めて、運転者にも交通安全を徹底していただく様々な方法があると思うので、町としてもしっかりと研究、議論していきたい。個人的には学校の周辺にハンプを設置し、運転手が速度を落とすような仕組みも必要だと思っている。

質問 先日、長野市浅川地

区のグリーンベルトを見てきた。狭い道路で幅が数十センチしかない箇所もあった。それでも引いてあげれば運転者も意識する。安全対策として、グリーンベルトの設置を要望する。

町制施行70周年に向けて、記念式典、イベントに具体案は

町長 関連事業については検討に入ったところであり、具体案の取りまとめはこれから。町全体が一体となつてつくり上げる事業、町が発展してきた歴史を振り返り、新たな未来への出発点となるような事業やイベントを具体化していきたい。

夏まつり山ノ内、どんどんについて、入場人員、反省点は

町長 入場人員は公式公表

3200人、昨年比1400人の増。昨年の反省点として挙げたキッチンカーなど飲食物提供ブース不足への対応が、参加者には最も効果があったと感じている。また、建設業山ノ内会による働く車体験メニューを拡充していただいたほか、長野県警からはパトカーと白バイの体験、ブースを設置、教育委員会からはスケートボード、ボルダリング体験など、新たな取り組みも好評であったと思う。今後、実行委員会において現状把握を行い、来年度以降も夏まつりを継続するうえでよかった点はブラッシュアップし、悪かった点は修正するという作業を行っていく。

石破首相誕生！
衆院選の行方は？
最初から
前途多難!!

小田孝志のつぶやき

指定緊急避難所の冷房整備状況は

危機管理課長 40施設のうち冷房完備は22施設



つかだ かずお
塚田 一男

※1 AED（自動体外式除細動器）：心臓がけいれんし血液を流すポンプ機能を失った状態（心室細動）になった心臓に対して、電気ショックを与え、正常なリズムに戻すための医療機器。
※2 QRコード：Quick Responseの頭文字からとったもので、素早く読み取る・反応するという意味がある。1994年に現在のデンソーウェーブ社が開発した日本発の技術。利用にあたって手続きや費用が不要で仕様も一般公開されているため、さまざまなシーンに應用されており、様々なデータや情報を記録することができる二次元コード。

1月に能登半島地震、9月に豪雨災害が発生。度重なる被災地の避難生活には、胸が痛む

塚田一男のつぶやき

災害対応と危機管理は

質問 避難所の耐震化に係る整備状況とその対策は。

危機管理課長 建物の指定緊急避難所40施設のうち、新耐震基準を満たしていない施設は5か所。

質問 耐震化整備に係る補助は。

危機管理課長 現在、自主防災補助金制度があるが、備蓄品購入等が対象である。これらの制度を拡充し、避難所の環境整備も該当するよう、検討をすすめている。

質問 避難所の冷房整備状況

況と対策は。

危機管理課長 指定緊急避難所40か所（町有施設19か所を含む）のうち、エアコン設置施設は22か所、未設置施設は18か所。昨年度は、エアコンの設置された避難所を優先的に開設するための運用を開始した。

質問 当町における過去5年間比較で、7～8月の日平均気温も約0.8～1℃上昇している。冷房未設置避難所における整備計画と整備に係る補助は。

危機管理課長 避難所の環境整備として、エアコン設置を含め、補助は今後検討する。

冷房整備のため補助要綱はないが、宝くじの財源による補助要綱はある。



AEDを使った講習会の様子

※1 AEDの設置状況と把握は

危機管理課長 町内事業所の設置把握はしていない。指定緊急避難所40施設のうち、設置済み25か所、未設置は15か所。設置済み施設については、施設利用者が対象として建物内に設置。

質問 AED配置場所をQRコードで確認できるようにしてはどうか。

危機管理課長 QRコード利用を含め、時代に即した情報手段を踏まえ、設置場所の情報提供について検討したい。

質問 公共施設におけるAEDに三角巾およびマスク

を配備できないか。

危機管理課長 三角巾は、特に女性への使用を考慮し、非常に重要と考えている。

質問 万が一のAED使用時、女性の場合はプライバシーを守る意味で、三角巾等がぜひ必要と考える。また、止血や傷の被覆、固定面でも活用が可能であり、価格も1枚税込み280円と安価。他の自治体では2枚配備しているところもあるが。

危機管理課長 AED機器の取り扱い上、やはり直接肌に触れることがあるので、しっかりと検討して配備を考えていきたい。

高齢者等の健康維持対策は

町長 運動機能の向上も含め 積極的に取り組む

※フレイル予防の取り組み状況は

健康福祉課長 生活や体、栄養、心や物忘れの状態に応じて介護予防教室への参加や生活支援サービスを案内している。

質問 具体的なものは。

健康福祉課長 貯筋体操・筋活教室を。民間事業所に、脳元気教室を社会福祉協議会に委託し、開催している。また、歯科医師の協力を得て、お口のリフレッシュ教室、栄養面では、栄養状態改善のため、栄養士と戸別訪問を行っている。

質問 精神面における支援策は。

健康福祉課長 基本チエックリストにおいて、心に関する項目が低下している方は、保健師・看護師より各

種教室の参加を促し、継続した支援を定期的訪問により実施。

質問 社会参加への働きかけの工夫は。

健康福祉課長 シルバー人材センターによる高齢者の雇用を促進するための運営補助を行い、高齢者いきい

き交流事業として、65歳以上で申請した方を対象に、年に1回10000円の町内温泉施設利用券を給付。

今後主要介護状態になることを予防し、地域で自立した生活が送れるよう取り組みを支援していく。



貯筋体操教室の様子

AEDは、各施設および公民館等に設置されているか

危機管理課長

公民館の利用については、各地区の公会堂、研修センター、集会所等利用していると思うが、指定緊急避難場所40か所のうち25か所は設置済みである。未設置については15か所と把握している。

質問 AEDケース内に不織布や三角巾など必要と考えるが。

危機管理課長 機械の取り扱い上、素肌を出して行う必要があることから、特に女性の場合には一定の抵抗感があることも十分理解している。三角巾は胸元を覆う布として利用のほか、止血や患部の固定にも活用で

きることから、非常に有効であると考えている。今後公共施設に配備してあるAEDについて早急に検討し、設置をすすめたい。

質問 AEDに関する補助制度がない中で、コンビニ等への設置促しを検討する考えはあるか。

危機管理課長 必要性があれば、現状に合わせて検討はすすめたい。

質問 役場窓口への軟骨伝導イヤホン設置について、全国的に設置している自治体が増えている。窓口での会話は、耳の聞こえづらい方にとっては大変なことだと思いが。

町長 大きな声による会話など、プライバシーの保護の観点から町として前向きに検討していく。



あぜがみ けいこ
畔上 恵子

※フレイル：健康な状態と要介護状態の中間段階の状態であり、能力低下により身体機能障害に陥りやすい状態のこと。

猛威を振るう自然災害
何があっても人間の力を信じる

畔上恵子のつぶやき

中学生提案の「合同文化祭」実現は

教育長

できる限りの応援をしたい



わたなべ まさお
渡辺 正男

大人と子どもの「合同文化祭」をどう考えるか

教育長

「中学生が夢見る町づくり討論会」での町民・小・中学校合同文化祭Ⅱ山ノ内町活性化イベントと題する生徒たちの発表を聞いて大変感銘を受けた。

まず、発表した生徒たちが「小学校のときはいろいろな町のイベントに参加していたのに、中学校になってあまり参加しなくなってしまう」という思いを自分ごととして語ってくれた点が素晴らしいと感じました。子どもと大人が一



中学生が夢みる町づくり討論会（7月19日・山ノ内中学校）

緒になって企画し、実現したいと町全体の活性化を願う提案をしてくれたことに大変勇気づけられた。ぜひ

一緒に実現できたらと強く感じている。来年は町制施行70周年という節目でもあり、発表した生徒達には中学校を卒業してもその思いを大切にしてもらえよう。子どもと大人がわくわくしながら対話を重ね、合同文化祭の実現に向けた課題を一つひとつ着実に乗り越えるために、小・中学校とも連携を密にはかりながら、できる限りの応援をしたい。

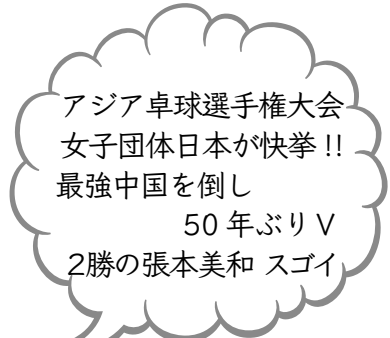
小・中学生の代表者も入れてほしいという意見に感銘を受けた。子どもの意見表明権についてどう考えるか。

教育長 今後、重視していかなければいけないと考えている。その後、中学校の校長先生ともこの提案について話した。学校としても子どもたちの希望をかなえるべく、一緒に努力していきたいとのことだった。

70周年をきっかけに 継続イベントとして

質問 町制70周年の記念イベントとして1回だけでなく、継続して毎年開催していくべきではないか。秋は農産物の収穫時期でもあり、リンゴやブドウ、キノコなどの販売や、早そば、キノ

町長 討論会には出席できなかったが、非常にいい企画だと個人的にも思う。大人と子どもと一緒に取り組むということをも町としてもやっていきたい。今後70周年のイベントを考える際に検討したいと思う。学校ともしっかりと調整しながら、例えば子ども議会だとか、子どももこの町への興味を示してもらえようような施策を考えていきたいと思っている。



アジア卓球選手権大会
女子団体日本が快挙!!
最強中国を倒し
50年ぶりV
2勝の張本美和 スゴイ

渡辺正男のつぶやき

職場環境づくりの取り組みは

町長 ワーク・ライフ・バランスの実践できる職場づくりが大事

職員の働き方改革とは

町長 職員がやりがいや充実感を感じながら働き、その職責を果たす一方で、子育てや介護の時間、家庭、地域、自己啓発など、自分の時間も確保して健康で豊かな生活ができる仕事と生活の調和が大切と考える。

女性の職業生活における活躍の推進に関する法律や、次世代育成支援対策推進法に基づいて、特定事業主行動計画を策定し、職員が働きやすい職場環境づくりに取り組んでいる。

次世代育成支援対策推進法が改正され、令和7年4月から施行となり、職員のワーク・ライフ・バランス実現に向けて改善すべき事項を改めて分析し、さらなる取り組みを推進していく

ことが、今後必要と感じている。

質問 時間外勤務状況をどのように把握しているか。

総務課長 職員入退庁管理システムを令和2年度から導入して、タイムカードにより庁舎内の全職員について入退庁時間、いわゆる時間外勤務状況を集計している。

状況の取りまとめは月ごとに行い、結果を課長等へ提供して職員の業務管理に活用しているほか、職員健康管理の観点から衛生管理者や産業医にも結果を提供し、時間外勤務が多い職員については必要に応じ、個別に面談や指導等の対応をとっている。

また、働き方改革と業務効率化の観点では、時間外勤務の改善、業務体制や事



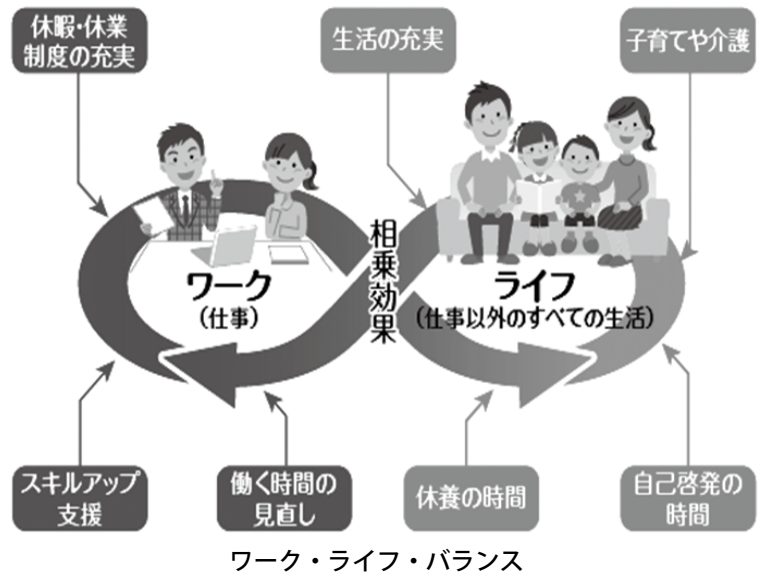
しろとり きんじ
白鳥 金次

※1 次世代育成支援対策推進法：我が国の急速な少子化の進行、家庭や地域を取り巻く環境の変化にかんがみ、次世代育成支援対策を迅速かつ重点的に推進し、次代の社会を担う子どもが健やかに生まれ、かつ、育成される社会の形成に資することを目的としている。地方公共団体に対し、次世代育成支援のための行動計画の策定を義務づけ、集中的・計画的な取り組みを推進している。

※2 特定事業主行動計画：女性の職業生活における活躍の推進に関する法律及び次世代育成支援対策推進法において、国や地方公共団体等が、「特定事業主」として、女性職員の活躍や自らの職員の子どもの健やかな育成のための特定事業主行動計画を策定することと定められている。

務の合理化、休暇の取得促進、女性活躍の推進などに取り組んでいる。計画目標である全職員で支え合う仕事と家庭の両立に向け、さら

なる取り組みにとめたい。
庁舎内の組織改編
質問 組織の改編は機能しているか。



町長 将来を見据えて、この役場組織も縮小しなければいけない。人口が減るに伴って役場の職員も減らす必要性があることから、より効率的な少人数のチームでしっかりと回せる体制づくりを、今から見据え、新しいことにチャレンジするチームとか、子どもたちの窓口を一本化するとか、今まで役場で取り決めてこなかったことを、一気に実施したことで、かなりグシヤクして、機能しづらかったことが確かにあった。

この10月も職員の配置、人数、個人の特性等を見ながら、よりスムーズな町政運営ができる体制づくりを、微調整しながら行う予定で、この改革は必要不可欠と考える。

防災対応 3原則

- ・疑わしきときは行動せよ
- ・最悪事態を想定して行動せよ
- ・空振りには許されるが見逃しは許されない

白鳥金次のつぶやき

教育長は旗振り役か調整役か

教育長 これからの3年間しっかりとリーダーシップを発揮したい



こばやし ひとし
小林 仁

質問 部活動地域移行の進捗は。

教育長 スポーツクラブと地域移行の議論が、うまく連動していないのが現状。

質問 今後のスケジュールは。

教育長 県の計画に沿いながら8年度末までに、まずは休日の地域移行を完了させる。

質問 運動はできていない、議論は続ける、その空白の時間はどうケアするか。

教育長 子ども達が放課後の過ごし方に十分満足できていない現状は、多々反省すべき点がある。

質問 チームスポーツなど

当町のごともだけでは完結できない競技を、隣接してある市町村と連携していく検討は。



中学校の校訓

教育長 その視点、私もかねてから感じており、中高飯水の各教育委員会とも協議をし始めている。

質問 志賀高原、北志賀高原のある町の環境を活かして、スノースポーツなどは引き受ける、私たちが完結できない種目に関しては、一緒に考えていい形にしていく議論を早急にするべきでは。

教育長 おっしゃる通り。自身の考えや、近隣自治体との共有情報はこれから積極的に発信していく。

質問 1校統合は、一旦立ち止まるという町長の方針から議論の裾野が広がった

教育長 高く積み上げるためには、裾野が広がることが大切、この1年半皆様の関心は確実に高まっている。町民の一人でも多くの方に関心を持っていただくことで建設的な議論に繋がっている。

質問 教育長は旗振り役か、それとも調整役か。

教育長 3年間任期をいた

と答弁していたが。

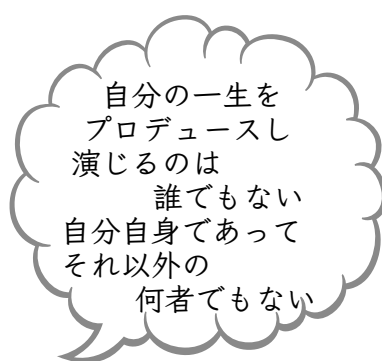
教育長 行けるチャンスがあれば是非行きたい。

質問 色々な友好都市など行かれる時に積極的に子どもたちの学習環境を教育長とともに構築していく、そういう取り組みをするか。

町長 友好都市との関係性構築の中で、子ども達の交流は一番のテーマ。教育長の力を借りて校長先生達の意識改革というか、国際交流の重要性、ALT教師の活用など具体的な細かい所も調整して友好都市と関係構築していきたい。

質問 町長のトップセールスに同行して教育環境を広

げる活動はしないか。



小林 仁のつぶやき

公共交通「チョイソコやまのうち」の評判は

町長 中野市への直接乗り入れは好評

質問 「チョイソコやまのうち」の利用者数は。

町長 本格運行を始めた7月の利用は214人。

質問 好評であれば、南部ルートも運営できないか。

町長 長電バスの管線が運行されているので、調整が優先になる。

質問 楽ちんバスの車両は2台必要だと思われるが。

町長 同じ時間帯に複数車両が運行する利便性は理解しているが、長電バスとの連携による運転手不足の解消も検討しながら、公共交通の利便性向上に向けた予算確保に取り組みたい。

学校のエアコン設置は

質問 猛暑日が続く中で、学校のエアコン設置状況は。
教育長 小・中学校の普通



ゆもと 湯本るり子



山ノ内町コミュニティバス(楽ちんバス・チョイソコやまのうち)

教室と音楽室と図書室には設置完了、本年度予算により中学校特別教室棟の3階は今年夏休み中に工事が完了している。
質問 エアコン未設置教室について、来年は大丈夫か。

子ども未来課長 本年度事業の中学校3階の3教室は広いので、各教室に2台のエアコンが必要であり、合わせて1030万円強かかった。

来年中学校だけでも300万円近いお金が必要なので、来年できるかは約束できない。予算の相談もしながら、順次すすめていく。

町長と語る会は

質問 今まで行われた3か所の参加人数は昨年に比べて少ないが町長の思いは。

町長 少し残念ではあるが、少ないから濃い議論ができた日もあった。

質問 現実に出た意見は。

町長 今回非常に多かったと思うのは、子育て環境と教育の関係、不登校のお子さんの第三の居場所づくりの必要性など。

質問 管理職が参加しているが、必要なのは。

町長 詳しい説明ができること、町民がどういう意見を持っているか直接知る

いい機会だと思った。
質問 参加は強制か。
町長 参加のお願いをしつつも、強制と捉えたかどうかはわからない。命令書を作ったわけではない。

質問 管理職にも参加してほしいのであれば、町政懇談会とか名前を変えてやられた方がよいのではないか。
また、町長のやる気は伝わっているが、独りよがり的一面もあるかと思う。町民の声を聞く機会を多く持ち、相互理解を深めることが必要だと思うが。

町長 そのことは常日頃気にかけている。同時に、リーダーシップを発揮しなければならぬ。時代の流れを先読みし、町の将来像をビジョンとして描き、一歩ずつすすめていくことが求められていると思う。

武力で平和は守れない。アフガニスタンで水路建設に尽力した医師・中村哲さんの映画を観た。機会があれば観てほしい

湯本るり子のつぶやき

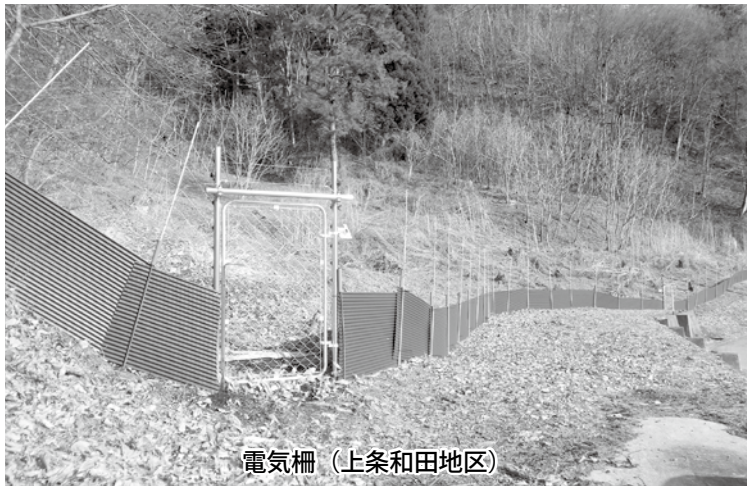
令和5年度一般会計決算

訪日外国人観光客は復調の兆し コロナ関連事業は縮小

実質単年度収支2781万円の黒字

7会計決算を認定

令和5年度一般会計ほか6会計の決算は議会選出の監査委員を除く12人の委員による予算決算審査委員会（委員長＝白鳥金次、副委員長＝湯本るり子）に付託され、9月6日～9月12日の4日間にわたり、町側の説明および資料の提出を求め、慎重に審査したうえで部会意見を付し可決すべきものと決定しました（決算の概要は、広報やまのうち9月号をご覧ください）。



電気柵（上条和田地区）

部会意見

〔第1部会〕

『一般会計
総務費』

○楽ちんバス・チョイソコの運用については、住民ニーズ・地区要望の把握に努め対応すること。

○官民連携事業を活用し、成果につなげる。

『農林水産業費』

○有害鳥獣被害対策は地域課題としてとらえ、「よせない・いれない・つかまえる」を3本柱に取り組むこと。

○いのちを守る森づくり事業は内容を精査し継続すること。

『商工費』

○新しい時代を見据えた第4次観光交流ビジョンとすること。

『土木費』

○空き家の実態は定期的に適正な把握を行い、効果的な空き家対策とすること。

『公営企業会計』

『水道事業会計』
○安定供給に向け、水源および

び施設の管理には万全を期すこと。

〔第2部会〕

『一般会計
民生費』

○子ども家庭センターの設置は、利用者ニーズに配慮した検討をすること。

○子ども、子育て支援事業計画の策定は、住民の利用希望の把握に努め、具体的な達成目標を設定すること。

『衛生費』

○予防（任意）接種事業にあたっては、補助拡充を検討すること。

『教育費』

○小学校統合は子どもたちの教育環境が、より良いものになるようつとめること。

○部活動の地域移行は状況の把握に努め、広域連携を視野に入れて検討すること。

○総合型地域スポーツクラブは、拠点となる体育施設の検討をおこなうこと。

○給食費の公会計化および無償化の検討をおこなうこと。
○上林総合グラウンド利活用

は、整備計画を策定し促進していくこと。

特別会計

『国民健康保険』

○保険者努力支援制度は、評価が上がるよう努力すること。

『介護保険特別会計』

○保険者機能強化推進交付金、保険者努力支援交付金に係る評価指標の総合得点が向上するようつとめること。

一般会計

反対討論

渡辺 正男

昨年6月の肉付け補正予算の賛成討論で、夏まつり山ノ内どんどの自衛隊PRブラス出展に対し「子どもたちも大勢集まる場になさわしいものとはとても思えない」と見直しを求めた。しかし、2年連続でブラスは出展した。自衛隊は、これまでの専守防衛から「敵基地攻撃能力」をも保持する組織に変貌してきている。子どもたちに自衛隊入隊を勧めるブラス出展には重ねて強く見直しを求める。

総括意見

予算決算審査委員会 委員長 白鳥金次

令和5年5月に、新型コロナウイルス感染症（以下「新型コロナウイルス」という）は、感染症法上の2類から5類に位置付けられ、社会経済活動の正常化が進みつつある中、経済の状況は緩やかな持ち直しが続いている。一方で、ロシアによるウクライナ侵攻を背景とした国際的な原材料価格の上昇や円安の影響等による工

ネルギー・食料価格の高騰など、経済を取り巻く環境は厳しさを増している。そのような中で、当町においては、インバウンド観光は回復の兆しが見られた。また、農業従事者の新規就農者は、令和元年度の17人を上回り19人が就農されたが、いまだ農業従事者の高齢化や後継者不足は深刻であり、当町の基幹産業である農業の持続可能な振興対策が強く求められている。

の黒字となっている。新型コロナウイルス関連事業が、5類移行に伴い縮小となったことなどが影響し、決算額は前年度と比較し減少した。

（歳入）

町税が町民税、入湯税などにより16億9905万円（対前年度比1.7%増）、寄附金では、ふるさと寄附金やガバメントクラウドファンディングなどの増により、4億4347万円（対前年度比9.9%増）となった。一方で、国庫支出金は子育て世帯等臨時特別支援事業や新型コロナウイルスワクチン接種事業集団接種の終了による減などにより6億9749万円（対前年度比19.6%減）、町債では新東部浄水場建設に伴う出資債や社会体育館解体事業の完了による減などで2億8894万円（対前年度比67.6%減）となった。

（まとめ）

「令和6年能登半島地震」、「令和6年台風10号」、自然災害は、人々の生活や健康、環境などにさまざまな影響を及ぼしている。災害への安全対策、更にはインフラ施設をはじめとする公共施設の老朽化対策、これら行政課題への的確な対応、将来にわたる持続可能な自治体経営への取り組みが今こそ求められている。この課題に立ち向かっていくには、職員の働き方改革が重要であり、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）ができる職場環境づくりを構築して進んでいくことを望みたい。職員一人ひとりが働きがいを持って仕事にあたることで、町に活気が満ちることを期待したい。

国民健康保険特別会計

反対討論

渡辺 正男

実質の余剰金、基金残高と繰越金は2億7303万円から2億6936万円にわずかに減少しただけで、平成30年度の県一本化以来、ほとんど減っていない。前年度同様基金活用での被保険者の負担軽減や、3方式移行に向けての段階的資産割見直し、均等割の見直しにも踏み込んでいなかった。保険税算定にあたっては、的確な数値の把握と被保険者のさらなる負担軽減に最大限の努力を強く求める。

介護保険特別会計

反対討論

渡辺 正男

基金残高と繰越金を足した実質余剰金は、第7期末である2年度末では、2億6848万円だったが、5年度末では2億5511万円。3年間で基金を1億5000万円取り崩すとしていたのに1337万円しか減らなかった。保険給付費見込みが過大で保険料が高過ぎたということだ。結果的に保険料は年額1万3200円値下げできたということになる。慢性的な力余り状態は改善されていない。



外国人観光客でにぎわう湯田中駅

令和5年度一般会計決算規模は、歳入76億6892万円（対前年度比9.2%減）、歳出73億6370万円（対前年度比8.5%減）で、翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支では3億516万円となり、前年度実質収支額を差し引いた単年度収支は7219万円の赤字となったが、財政調整基金積立1億円によるもので実質単年度収支は2781万円

（歳出）

衛生費が出産・子育て応援給付金や保健センター改修工事などで5898万円増、教

ここが疑問

予算決算審査委員会

予算決算審査委員会の5年度決算審査での主な質疑・答弁は以下のとおりです。

楽ちんバス更新

○ バスの使用程度は。
 3年間で30万キロ走行。車両の足回りの劣化により、ディーゼル車を導入した。ディーゼル車は100万キロの走行が可能。

ロマン美術館 仮設トイレ

○ 使用状況は。
 5年11月下旬から約6か月間で、延べ1万6000人の利用があった。

まちづくり観光局 説明会

○ 旧観光連盟加入団体への説明はいつするのか。
 宿泊税に係る説明と合わせ、10月中に予定している。

旧東部浄水場は

○ 今後どうするのか。

結婚活動応援事業は

○ 実績は。

5年度は成婚2組(男性は町内女性(は町外)町内在住。6年度は成婚なし。

学校のエアコンは

○ 整備状況は。

中学校の特別教室棟を先に整備し、6年度は3階、その後1・2階に設置予定。

児童手当は

○ 10月から所得制限がなくなるが対応は。

耐震性防火水槽は

将来的には解体予定。新東部浄水場の水源の関係からバックアップ的なものとして現在様子を見ている。

町内に何基あるか。

耐震は約40基、旧型は約70基。

上林のスポーツ施設を現地視察



上林グラウンド 西側のトレーニングルーム

予算決算審査委員会では、5年度決算審査にあたり、9月10日、上林の総合グラウンド周辺のスポーツ施設の現地調査を行いました。

グラウンドとテニスコートについては、5年度決算で、使用料収入が117万円余に対して、251万円余の維持管理費、753万円余の借地料がかかっています。3か所あるテニスコート(12面)のうちコート(5面)は、老朽化がすすみ、使用停止中です。サマージャンプ台も構造物は残っていますが、現在、廃止施設となっています。今後、こうしたスポーツ施設のあり方、活用方法については十分な検討が必要です。

令和6年度

町村議会広報研修会

9月25日、「令和6年度町村議会広報研修会」に、広報委員の畔上恵子議員と志鷹慎吾議員の2人が出席。3人の講師から「議員活動に対する住民の関心と理解を深めることが求められている状況に鑑み、議会広報の発展に資することを目的」というテーマで講演が行われました。

編集は、住民にとって身近で親しみやすく、「議会の見える化」と「住民との信頼関係を築くこと」を基本とし、「読みやすく・分かりやすく・伝わること」が大切なこと。時には1000の言葉よりも1枚の写真の方が、伝える力を持つことだと学びました。



虎ノ門の三ツッショーホールにて

令和5年度 一般会計および特別会計

総括意見（抜粋）

財政状況を主な指標で見ると、財政構造の弾力性を判断する指標として用いられる経常収支比率は、燃料高騰に伴う光熱費などの増により86%となり、前年度に比べ24ポイント悪化した。

一方、財政力を判断する指標である財政力指数は、0.370で前年度から0.013下がり、低下傾向が続いている。

人口減少・少子高齢化問題や公共施設の老朽化に伴う大規模修繕、長寿化対策、防災・危機管理体制の充実、

安心・安全な暮らしの確保、観光・

農業を柱とした地域産業の活性化

など、取り組むべき課題は山積している。こ

うした諸課題への対応と厳しい財政状況を認識したうえで、住民サービスを根幹に据え

るべきこと。また、職員の働きやすい職場環境を整え、ハラスメント防止やメンタルヘルス対策を引き続き推進されたい。

個別意見

用対効果を踏まえた事業を取捨選択しながら効率的かつ効果的な予算の投入と運用が求められている。第6次総合計画の実現に向け、住民の意見を十分配慮したうえで、基本目標達成のための一層の取り組みが望まれるところである。

1. 組織体制の充実を図り、適正な人事行政を推進すること。また、職員の働きやすい職場環境を整え、ハラスメント防止やメンタルヘルス対策を引き続き推進されたい。

2. 第7次行政改革大綱を踏まえ、多様化する行政ニーズや重点施策に対し、限られた人材でも対応できるよう、他の自治体の取り組み事例などについて、十分に調査・研究をし、引き続き活用されたい。

3. 行政手続き等のデジタル化については、幅広い住民サービスの向上と事務の効率化を引き続き図られたい。

4. 税・料金等の収納率向上のため、関係課で連携し徹底した取り組みをされたい。また、より徹底した滞納処分と適正な不納欠損処分を行われたい。

5. 観光局への補助金等は内容を明確にし、町が関与できる組織体制となるよう図られたい。

6. ブランド農業生産振興対策について、安定的な品質と生産の向上とともに「やまのうちブランド」の強化に努められたい。

7. 空き家等対策については、移住定住対策も含め、積極的な取り組みを引き続きすすめられたい。

8. 移住・定住の促進に向け、希望者の掘り起こし、田舎暮らしの魅力発信、移住後のサポートをさらに推進されたい。

9. 結婚支援事業の充実に向け、幅広く視野を広げ、移住国際交流推進室とも連携しながら事業の一層の推進を図られたい。

10. 災害等に備え、危機管理体制を整えるとともに、住民に対する啓発・指導を積極的に行い、自主防

11. 消防団活動への理解や協力をより一層得られるよう、また、団員確保にあたっては地域の組織とも連携し、努められたい。

公営企業会計

審査意見

・施設の老朽化に伴う計画的な更新および水道水の安定供給に努められたい。

・経費節減と事業改善について具現化し、健全な経営の維持を図られたい。

・ストックマネジメント推進による計画的な事業実施をすすめられたい。

公共下水道事業 および農業集落 排水事業

審査意見

・ストックマネジメント推進による計画的な事業実施をすすめられたい。

◎ゼロカーボンシティの宣言に向け、検討すること（令和5年度予算）

①令和5年9月議会において、「山ノ内町ゼロカーボンシティ宣言」を行った。

◎子育て支援・学校教育に関して、ワンストップで対応できる組織体制を検討すること（令和4年度決算）

- ①令和6年4月1日の組織改編により、5年度まで健康福祉課子ども支援係で行っていた子育て支援業務について教育委員会に移管し学校教育部門と合わせて「こども未来課」を設置した。
- ②こどもに関する問い合わせにワンストップで対応できるよう、設置場所も庁舎2階に移し、保・小・中連携しこども施策に取り組んでいる。



◎危険な空家の解消とともに、増やさない対策につとめること（令和4年度決算・5年度予算）



今にも転げ落ちそうな危険な廃屋（裏落合）

- ①令和5年度に老朽危険空家等除却費補助金を活用し、除去した空き家は2件で100万円。
- ②上条地区の特定空家は略式代執行により除却した。また、裏落合地区にある特定空家についても6年度中に除却ができるようすすめている。

◎消防施設（水利・警鐘楼）の整備は計画的に推進すること（令和5年度予算）

- ①耐震性防火水槽は隔年で東北部と南西部に分けて2基ずつ設置をすすめている。防火水槽の建て替えも計画している。
- ②消火栓は、緊急度合いから実施順位をつけ毎年2基ずつ建て替えまたは新設している。
- ③警鐘楼は昇降時の安全上の観点から撤去する方針である。ポール型警鐘楼撤去は完了し、小型の鉄骨式警鐘楼撤去をすすめている。（現在27基、内ホース乾燥用として利用15基）



錆びついた警鐘楼（苗間地区）

令和4年度決算・5年度予算の審査意見に対し町がどう取り組んできたのかを、令和5年度決算審査において現況報告のあった主なものを紹介します。

賑わいのある

上條神社常例祭

9月は収穫を感謝する祭りが各地区で執り行われている。上条の祭りは「上條神社常例祭」というが、「コロナが下火になった令和4年から「賑わいのある常例祭実行委員会」を立ち上げ、以前にも増して祭りを盛り上げ、区民の絆を深めることにつなげている。

コロナ禍以前の常例祭

秋の常例祭は区の一大行事である。早朝から各所に幟を

立て、神社では門灯籠を建て夜（宵宮）は上條神社社務所（研修センター）前での獅子舞奉納から始まり、神社



浦安の舞

に向けお練り出発。区の役員はじめ組役員総出の大行進。神社では神事、獅子舞奉納。翌日の昼（昼宮）は、子どもたちと一緒に浦安の舞奉納。一見賑やかではあるが何かが足りない。なんだらう。神社には確かに大勢の人がいるが、関係者がほとんどである。一般の区民やまして子どもたちの顔がほとんど見えない。

祭りを盛り上げるには

令和2年、3年はコロナ禍により祭りは神事のみで終わった。この間、子どもたちを含め区民が大勢集まる祭りにするにはどうしたらよいか、区や氏子を中心に関係者の意見を聞きながら検討会を行った。「子どもころは屋台がいっぱいあって、祭りが楽しかった。」とか、「大人たちが



神社の前は人だかり

が屋台を担当し、じいちゃんばあちゃんが孫を連れてやってくる。そこに3世代の交流が生まれる。」といった意見が出た。「ぜひ協力したい」と上条消防団、「面白そうですぬ」とすみれ会（若いママさんグループ）、「多くの子どもたちに楽しんでもらえたら素晴らしいですね」と育成会。こうして実行委員会が立ち上がり、賑わいのある上條神社常例祭に向けた活動が始まった。

賑わいのある常例祭

令和4年から感染者数の推移を確認しながら、通常の姿に戻し常例祭が執り行われた。大きく変わったのは屋台の数である。今までは睦会（高齢者グループ）のおでんだけであったが、消防団の輪投げ、ガチャガチャ、すみれ会の水鉄砲射的、ビニールヨーヨー釣り、育成会のわたあめ、スパーボールすくいをはじめ飲食店組合の協力も仰ぎ焼きそばフランクフルトなど6つの屋台が



手作りの出店

処狭しと並び祭りを盛り上げている。ほとんどが手作りである。

子どもたちをはじめ区民の皆さんも大勢来て、獅子舞を見たり、ゲームを楽しんだり、焼きそばをおいしそうに食べている。子どもたちの笑顔を見ている大人たちの顔もほころんでいる。大袈裟ですが、この祭りを通して地域に愛着を感じてもらえればと思う。

区役員や関係者の方々は、地域を盛り上げるべくこの「賑わいのある常例祭」を毎年行い、地域の活性化につなげていただくことを祈念する。

（担当：小田 孝志）

皆さんからの 請願・陳情

| 受理番号 | 件名 | 陳情者 | 採決結果 |
|-------|--|-------------------------------------|-----------------------|
| 請願第1号 | 「女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書」の提出を求める請願書 | ヤマを動かそう！ 信州@北信代表 江田 宏子 | 採択 (全会一致) 意見書送付 |
| 陳情第5号 | 母(王乖彦 ^{オウカイゲン})が中国で不法に逮捕されている件に関する要望 | 張 ^{チョウ} 一文 ^{イチブン} | 文書配布対応 |
| 陳情第6号 | 「最低賃金の改善と中小企業支援の拡充を求める意見書」の採択を求める陳情書 | 中高地区労働組合連合会 議長 明石 勇樹 | 採択 全会一致 (意見書送付) |
| 陳情第7号 | 政府の責任で医療・介護施設への支援を拡充し、すべてのケア労働者の賃上げや人員増を求める陳情書 | 長野県医療労働組合連合会 執行委員長 小林 吟子 | 採択 全会一致 (意見書送付) |
| 陳情第8号 | 国民健康保険財政への国庫負担の増額を求める陳情 | 長野県社会保障推進協議会 代表委員 宮沢裕夫ほか5名 | 採択 全会一致 (意見書送付) |
| 陳情第9号 | 「現行の健康保険証の存続を求める意見書」の提出を求める陳情書 | 長野県保険医協会 会長 宮沢 裕夫 | 不採択 (賛成少数) |

陳情9号賛成討論

渡辺 正男

8月の全国地方新聞18社合同アンケート調査によると「現行の保険証を残し、マイナ保険証導入はやめて」が42.0%、「現行の保険証を残し、選択制に」が39.8%で、8割以上が現行の保険証存続を願っている。当町の医療機関でのマイナ保険証利用率は国民健康保険では7.78%、後期高齢者医療保険ではわずか2.4%しかない。国による強引なマイナ保険証推進に国民は納得していない。

議会全員協議会

第10回(7月24日)

- (1)執行機関側からの提出案件 なし
- (2)議会側からの提出案件
 - ①議会活性化の提言について
 - ②議会報告会議員アンケートについて
 - ③令和6年度特別豪雪地帯指定市町村総会議題について

第11回(7月30日)

- (1)執行機関側からの提出案件 なし
- (2)議会側からの提出案件
 - ①タブレット端末の研修について
 - ②子ども海外留学支援補助金交付要綱について
 - ③メールによる投書について

第12回(8月29日)

- (1)執行機関側からの提出案件
 - ①令和5年度決算に係る財政健全化比率及び資金不足比率の報告について

- ②小学校統合について
- (2)議会側からの提出案件
 - ①議員問討議について

第13回(9月12日)

- (1)執行機関側からの提出案件
 - ①「特別職の職員の旅費又は費用弁償に関する条例」第8条について

第14回(9月19日)

- (1)執行機関側からの提出案件
 - ①第7次行政改革大綱実施計画(令和6年度版)について
 - ②令和6年度奥志賀高原地区の賃貸借料及び地上権地代の改定について
 - ③まちづくりと教育に係る人材活用について
 - ④森林資源アップサイクルによるまちづくりについて

編集後記

山ノ内町は、暑い夏を乗り越え、実りの秋を迎える美しい季節の変わり目ですね。

近年、豪雨や台風の頻度と強度が増加し、気候変動が自然災害に与える影響は非常に大きくなっています。1時間降水量100ミリ以上の短時間豪雨の発生頻度も増加しています。災害の多いこの国で、老朽化したインフラの改善や防災教育の充実など、ハード・ソフト両面での対策が必要で、気候変動に対する適応策を十分に整備していかなければならないでしょう。さらに地震や水害が連続して発生する場合、避難計画の見直しなど、私たちは自然災害に対する備えを強化し、より安全な社会を築くことが求められているのではないのでしょうか。

(志鷹慎吾)